

令和5年度 JW 懇話会の開催

FROM JW CENTER

令和5年10月20日（金）に、JWセンター会議室で令和5年度 JW 懇話会を開催しました。講師には国立研究開発法人国立環境研究所資源循環領域長の大迫政浩様をお招きし、約1時間、「廃棄物の資源循環や脱炭素に向けた課題と今後の展望」をテーマに、欧州各国のソーティングセンターにおけるプラスチックや生ごみ等の選別状況や、動静脈連携による日本の循環経済への移行の動向についてご講義いただきました。

JW 懇話会はコロナ禍により約3年半ぶりの開催となりましたが、センターの常勤の役職員に加えて、非常勤の役員、来年度の新規採用予定者等、計37人が参加し、盛況のうちに閉会しました。今後も、廃棄物に関するテーマで様々な講師を招聘し、JW 懇話会を開催してまいります。



写真 講演の様子

JW センター主催「廃棄物処理法初心者のための Web 講座」 令和5年度 第3弾 開催報告

FROM JW CENTER

総務部広報室

第3弾は、第1、2回は「行政処分」について、令和3年度に実施した同テーマの講義動画と解説動画を期間内にご覧いただく配信のみの期間配信を、第3、4回は「廃棄物処理法許可不要制度」について、事前に収録した講義動画をご覧いただき、当日はWeb開催形式その後オンタイムでチャットでの質疑応答を行いました。

[講師] 第1、2回 是永 剛 氏（長野県環境部水大気環境課長）

第3、4回 長岡 文明 氏（BUN 環境課題研修事務所 主宰）

[対象] 環境省・都道府県政令市等の産業廃棄物部局のご担当者

[開催日時及び講義内容]

開催形式	講義内容	日程
期間配信	第1回 行政処分について（1）	令和5年11月 1日～11月30日
	第2回 行政処分について（2）	
Web開催	第3回 廃棄物処理法許可不要制度（1）	令和5年12月 5日 14:00～16:30
	第4回 廃棄物処理法許可不要制度（2）	令和5年12月13日 14:00～16:30

第19回 産業廃棄物と環境を考える全国大会の開催 ～「資源循環」をテーマに掲げ、 循環型社会の形成や低炭素社会の実現を図る～

FROM JW CENTER

令和5年11月10日（金）東京都において、（公社）全国産業資源循環連合会、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団及びJWセンターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を4年ぶりに開催いたしました。本大会は第19回目を迎え、多くの廃棄物関係者等の皆様（420名）にご参加いただきました。

大会では、環境大臣表彰式典の後、環境省環境再生・資源循環局の角倉次長より『循環経済への移行による「新たな成長」の実現』についてご講演いただきました。

今回は、令和6年11月15日（金）に岐阜県での開催を予定しています。



写真 基調講演の様子

株式会社タケエイ川崎リサイクルセンター、 リバー株式会社市原事業所 施設見学会

FROM JW CENTER

令和5年11月29日（水）に、センター役職員14人が（株）タケエイ川崎リサイクルセンター及びリバー（株）市原事業所を見学しました。（株）タケエイとリバー（株）は令和3年10月に、共同持株会社「TREホールディングス（株）」を設立し、廃棄物処理・再資源化事業のほか、資源リサイクル事業や、木質バイオマスによる再生可能エネルギー事業を幅広く展開しています。

川崎リサイクルセンターでは、建設系混合廃棄物の保管状況や、選別・破碎設備ライン、光学選別機等を見学しました。同施設は、木くずを木質チップに、コンクリート塊を碎石に、金属くずを製鉄もしくは非鉄原料にリサイクルしています。また、廃プラスチック類等から固形燃料RPFを製造し、グループ会社に発電用燃料として供給しています。

リバー（株）市原事業所では、家電4製品の分解・選別作業を見学しました。同施設は年間約50万台の家電のほか、使用済自動車約15万台、産業廃棄物・有価SHR材約2万t、シャーリング材約2.4万tを受け入れており、これらは鉄、アルミニウム、銅・ステンレス・真鍮、基盤・金銀銅滓、プラスチック等に再資源化されています。

両施設は、TREホールディングス（株）が目指す持続可能な社会の実現に向けて、徹底した廃棄物の分解、選別により、可能な限りのリサイクルを実施していました。今回の施設見学に参加することにより、我が国の循環経済への移行の基盤となる技術について理解を深めることができました。



写真 集合写真